

(仮称)札幌博物館基本計画【概要版①】

序章

1 これまでの経緯

- ・S 61 市教委による自然史系博物館の検討開始
- ・H 8 博物館基本構想委員会から「北・その人と自然」を基本テーマとする自然系総合博物館を目指す提言
- ・H 9 行財政改革推進計画により博物館建設計画は凍結
- ・H13 札幌市博物館計画推進方針策定、博物館活動センター開設

2 計画策定の目的

社会情勢・社会環境の変化と博物館に求められる役割を踏まえ、札幌の自然と人の関わりを探索し、札幌の未来に貢献する博物館を創り上げていく計画を策定します。

3 計画の位置付け

平成25年に制定された「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を受けた、個別計画として位置付けます。

第1章 札幌博物館の使命

博物館活動センターにおける活動の成果と課題 + 急速な社会環境の変化

-課題抽出- ・資料収集分野・研究分野の偏り ・ネットワーク機能の不足 ・団体利用への対応不可 など

札幌博物館の使命

使命①

札幌市民としての郷土への愛着と誇りを育む

使命②

創造性あふれる人材の育成

使命③

自然と人の観点からまちづくりに貢献

第2章 札幌博物館の基本テーマと対象領域

基本テーマ

北・その自然と人

	札幌博物館	北海道博物館	北海道大学総合博物館
領域	石狩低地帯形成の1億3千万年	人間史中心の120万年	北大開学140年の研究成果
特徴	・自然史の視点から札幌の自然、歴史、文化を明らかにする「自然史系博物館」	・人間史の博物館 ・アイヌ文化を保存・伝承し、未来に活かす博物館	・学術標本の活用と学芸員研修や研究活動への援助を通じた博物館への貢献する「大学博物館」
使命	1札幌市民としての郷土への愛着と誇りを育む 2創造性あふれる人材の育成 3人と自然の観点からまちづくりに貢献	1博物館としての基本的機能の充実 2北海道における総合的な博物館 3道内博物館の中核となる施設	1学術標本の管理・整理、次世代への継承と情報の提供 2学術資料を用いた学際的研究分野の開拓 3展示・セミナー等を通じた教育普及活動 4博物館文化の創造と発信
対象	市民や札幌の観光客など ・市民にとっては札幌の独自性を総合的に学ぶ唯一の場であり、観光客などの来訪者にとっては札幌の魅力を楽しむ施設	道民 ・特定の地域や人ではなく、北海道と道民が対象	学生・研究者 ・高等教育機関の博物館として学生・研究者への情報提供が中心
基本テーマ	北・その自然と人	北東アジアの中の北海道	モノ・コト・ヒトをつなぐ
展示テーマ	札幌の独自性を示す5つのサブテーマ 1さっぽろの自然景観の形成 石狩低地帯の形成と札幌の山、川、台地の形成史 2さっぽろの生命と生物の進化 札幌産出の化石から見る生物の進化 3さっぽろの自然と人類の共生 札幌の生物多様性と人々の暮らし 4さっぽろの交流史 気候変動に伴う環境と文化の交流 5さっぽろの形成史 札幌の街並を形成した自然背景を歴史や人とあわせて紹介	プロローグ 1北海道120万年物語 ナウマンゾウ、マンモスゾウ、北海道に生きた人 2アイヌ文化の世界 アイヌの口承文芸、伝統文化、暮らしと意識 3北海道らしさの秘密 明治、大正、昭和を経て作られた北海道らしさ 4わたしたちの時代へ 戦争、開発、自然保護など人と自然の関係を展示 5生き物たちの北海道 生物同士のつながりを、生態系ごとに展示	学術テーマ展示・知の統合 生き続ける札幌農学校精神 実学の精神 ロフティアンピションの系譜 知との対話 知との統合 循環から見る自然と人 生命／多様性と普遍性 人間・社会・自然と科学技術 北を見る目・北から見る目

第3章 事業活動計画

1 事業活動の考え方

市民とともに自然史の視点から札幌の独自性を明らかにする

2 事業活動の構造 — ネットワークの形成～多様な活動を展開するために～

活動拠点(コア)

札幌博物館の施設

つながり起点(サテライト)

札幌博物館の外にある既存施設や各種資産

- (ア) 博物館・研究機関等 …北海道大学総合博物館(北区)、北海道博物館(旧 北海道開拓記念館、厚別区) 等
 (イ) 教育機関 …市内の幼稚園、小中学校、高等学校、大学 等
 (ウ) 地域の歴史や文化の拠点 …清華亭(北区)、屯田郷土資料館(北区)、札幌村郷土資料館(東区)、手稲記念館(西区) 等
 (エ) 自然・歴史・文化の足跡をうかがい、知ることのできる地域の資産 …藻岩山(南区)、石山緑地(南区)、手稲山(手稲区) 等

3 活動拠点(コア)での事業活動の展開

【展示・解説】

感動伝達事業(エモーション事業) : 札幌の自然史の魅力を伝える

札幌の自然史を実感する「本物」の迫力や魅力を展示
様々な講座や体験事業など学芸員のきめ細かな対応

【収集・保存・調査・研究】

地域課題解決事業(ソリューション事業) : 札幌の独自性を解明、成果を発信・活用

札幌の独自性を明らかにする資料を広く収集し、適切な環境で保存、未来に継承
日常生活や地域性のあるテーマの調査・研究、研究成果の発信・活用

【普及・交流】

つながり創出事業(リレーション事業) : ネットワークを結び「つながり」を強め活動を広げる

感動伝達事業や地域課題解決事業の成果や活動を街全体に広げ、
市民や関係機関とつながりを強める

4 ネットワーク型ミュージアムのしくみ

人が出会い、人とつながる

- ・感動的な展示と親しみやすい解説で、何度も足を運びたいような体験や交流の場を提供
- ・同じ興味や関心を持つ人が出会い情報を分かち合う機会を提供し、世代を問わず人と人がつながり、グループを形成

グループが活動する

- ・人が出会い、人とつながる中で生まれたグループの博物館活動を、積極的に支援

活動が街にひろがる

- ・様々な活動の成果を得たグループや個人が、札幌の街全体をフィールドに多彩な活動を展開

【具体例】

- ・展示の迫力(体長7mのサッポロカイギュウ)と学芸員の解説
- ・体験学習会・講座
- ・出前展示
- ・科学絵本読み聞かせと学芸員の井戸端サイエンス
- ・サイエンス・フォーラム

- ・えぞホネ団…動物標本・レプリカ・教材製作
- ・読み聞かせ・朗読ユニット月et兔
- ・西岡公園植物調査班
- ・札幌自然史研究会(化石のクリーニング)

- ・えぞホネ団の活動
…円山動物園(スネークアート展)、大阪府自然史博物館(ほねまねサミット)への参加

(仮称)札幌博物館基本計画【概要版②】

第4章 施設計画

1. 札幌博物館の候補地

- 立地条件**
- 市民が集いやすく、観光客が来訪しやすい場所
 - 館の基本テーマ「北・その自然と人」を実感できる環境
 - 3事業(感動伝達事業、地域課題解決事業、つながり創出事業)の展開に必要な規模を確保

札幌駅・大通駅やその周辺の都心部
 ▶地下鉄・市電を利用して「つながり起点(サテライト)」にアクセスしやすい

札幌駅～大通、西11丁目周辺地域
 ▶札幌の自然史を垣間見る豊平川扇状地の湧水(メム)が分布
 ▶札幌の成り立ちを実感できる札幌市資料館や大通公園などの歴史・文化資産がある

閉館・解体予定の「さっぽろ芸術文化の館」がある(敷地面積 約11,000㎡)



「さっぽろ芸術文化の館」のある「北1条西12丁目街区」を札幌博物館の建設候補地として位置付ける

2. 札幌博物館の諸室整備 3事業を効率的に展開するための諸室整備

- 感動伝達領域**：いつまでも新しい発見ができる展示内容を容易に更新、可変性を重視した構造
 - 展示エリア … 常設展示室、企画展示室、特別展示室 等
 - 普及・交流エリア … 講義室、実習室、講堂、作業室 等
- 地域課題解決領域**：適切な収蔵環境の整備、専門的な調査・研究活動に対応
 - 収集・保存エリア … 収蔵庫、特別収蔵庫 等
 - 調査・研究エリア … 研究室、標本検査室、洗浄処理室 等
- つながり創出領域**：思わず立ち寄りてみたくなるにぎわいと交流の場
 - エントランス・交流エリア … 図書閲覧室、ミュージアムショップ、カフェ 等
- 管理・その他領域**
 - 管理・共用その他エリア … 事務室、会議室、機械室 等

3. 札幌博物館の規模

展示内容、館内で行われる諸活動について詳細に詰め、それに合わせた規模や諸室を検討する

【参考】類似施設の延床面積 10,000～17,000㎡
 三重県総合博物館(平成26年開館)、大阪市立自然史博物館(平成18年リニューアル)、北九州市立いのちのたび博物館(平成14年開館)

第5章 運営計画

1. 運営方式の考え方

公立博物館は、「直営方式」と「指定管理者方式」が中心
 一部の地方自治体では、「地方独立行政法人化」を検討 → この中から最適な運営方式を検討する

2. 柔軟かつひらかれた運営体制

- 組織の考え方 ⇒ 事業や活動を連携させていく調整役の人材としてのコーディネーターの配置
- 市民活動参画登録制度の検討
- 外部有識者で構成する評価委員会

3. 誰もが気軽に利用できる開館形態

開館日、開館時間、利用料金 → 適切なあり方について、検討を進める

第6章 整備推進方針

- 市民みんなで考え、つくる
- 多彩な専門職員の配置など体制づくり
- 具体的計画の策定(展示基本計画、整備基本計画、管理運営基本計画)

展示シナリオ案

札幌の独自性や魅力を感動的に伝えます。



エントランス展示

思わず足を止めて見入ってしまう展示
 世界最古の大型海牛(サッポロカイギュウ)と中新世・世界最大のクジラ化石(小金湯産クジラ)

ポータル展示

展示の概要を紹介、市内の情報検索

5つのサブテーマ展示

札幌の自然・歴史・文化の独自性を、基本テーマに基づいた5つのサブテーマで構成し、さまざまな手法で展示します。

さっぽろの自然景観の形成



石狩低地帯は、日本海とオホーツク海の拡大、さらに太平洋プレートの沈み込みによって形成された、世界的に見ても独自の形成過程をもつことを、アニメーションで紹介

さっぽろの生命と生物の進化



札幌産出の化石は、地球環境の変動と動植物の適応進化を受けて、世界で最初に大型化した、環境と生物進化と生物多様性の関連性を実証する世界的にも貴重な化石であることを映像で解説

さっぽろの自然と人類の共生



札幌の市街地がある扇状地は、豊平川の洪水によって形成された災害の証、また、温泉は、火山活動によるマグマの熱が供給源であることなど、厳しい自然とその恩恵を受けて営まれた札幌の歴史や人々の暮らしを紹介

さっぽろの交流史



ユーラシア大陸の東縁に浅い海峡をはさんで並ぶ日本列島は、地球規模の寒暖に同調した海水準の上昇・下降にあわせ、「北方系」と「南方系」の自然と文化が交流した歴史を展示

さっぽろの形成史



14世紀から19世紀にかけて起こった世界的な寒冷化がロシアの東進と江戸幕府の蝦夷地開拓を進め、やがて、両者の衝突を契機に展開する札幌の歴史やそれに関わる人物などを紹介

収蔵展示(ミドルヤード展示)

札幌の自然の現況と生物多様性を実感できる展示



企画展示

札幌の独自性を示す企画展示や市民企画の展示のほか、道内外の博物館による巡回展や大型の特別展などを開催

ユビキタス展示

インターネット配信などを使って博物館の情報を場所・時間を問わず利用できるしくみで、インターネット上で博物館を見学したり、博物館で実施された講演をインターネットで配信したり、市内のとある風景にスマートフォンのカメラをかざすと昔の風景映像が重なって表れるARコンテンツなどを配信します。

